



## 2026年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2026年5月13日

上場会社名 株式会社湖池屋  
 コード番号 2226 URL <https://koike-ya.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 小池 孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 大島 広昭  
 定時株主総会開催予定日 2026年6月19日 配当支払開始予定日 2026年6月4日  
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月18日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3979-2116

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	61,156	3.0	3,868	3.7	3,773	6.1	2,594	0.2
2025年3月期	59,383	8.3	4,019	11.7	4,017	15.1	2,590	17.3

(注) 包括利益 2026年3月期 2,998百万円 (12.4%) 2025年3月期 2,667百万円 (4.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	243.24		12.9	8.7	6.3
2025年3月期	242.81		14.3	10.6	6.8

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 16百万円 2025年3月期 16百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	47,363	21,626	45.0	1,995.76
2025年3月期	39,055	19,410	48.8	1,788.10

(参考) 自己資本 2026年3月期 21,290百万円 2025年3月期 19,075百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	3,996	6,928	3,608	4,354
2025年3月期	150	6,757	3,666	3,567

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期		0.00		55.00	55.00	586	22.7	3.2
2026年3月期		0.00		55.00	55.00	586	22.6	2.9
2027年3月期(予想)		0.00		55.00	55.00		22.6	

### 3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	65,400	6.9	3,900	0.8	3,800	0.7	2,600	0.2	243.72

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1 社 (社名) KOIKEYA AMERICA INC. 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期	10,670,000 株	2025年3月期	10,670,000 株
期末自己株式数	2026年3月期	2,222 株	2025年3月期	2,222 株
期中平均株式数	2026年3月期	10,667,778 株	2025年3月期	10,667,778 株

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績 (2025年4月1日 ~ 2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	55,009	3.2	3,439	2.6	3,367	3.8	2,439	2.4
2025年3月期	53,325	8.1	3,532	7.3	3,501	10.1	2,381	12.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	228.68	
2025年3月期	223.28	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	45,027	20,523	45.6	1,923.89
2025年3月期	37,251	18,672	50.1	1,750.33

(参考) 自己資本 2026年3月期 20,523百万円 2025年3月期 18,672百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2026年5月14日 (木) に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等の注記) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度は、国内において引き続き「湖池屋プライドポテト」を代表とする高付加価値商品群を軸とした販売戦略が好調に推移し、売上を拡大しました。加えて、「スコーン」を主軸としたコーン系定番商品の販売も好調で、売上拡大に大きく寄与しました。

一方で、夏場の気温上昇に起因する馬鈴薯品質の悪化に伴い、馬鈴薯歩留が当初の想定を大きく下回ったことにより製造コストが増加し、また、北海道産馬鈴薯の不作に伴う収穫量減少によって、下半期の商品施策・販売戦略の大幅な見直しを余儀なくされました。加えて、その他原材料費などの高騰、賃上げ実施・人員増加による人件費増加の影響もあり、利益を圧迫しました。これらに対応するため、コスト削減施策及び価格改定を実施することで利益確保に努めました。

海外では、各国において原材料価格等の高騰もありましたが、当連結会計年度より事業活動を開始したアメリカ事業や、ベトナムにおける輸出事業の好調を受け、増収増益となりました。業績は次のとおりです。

売上高は、61,156百万円（前年同期比3.0%増）となりました。利益につきましては、営業利益3,868百万円（前年同期比3.7%減）、経常利益3,773百万円（前年同期比6.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2,594百万円（前年同期比0.2%増）となりました。

セグメント別の事業の業績は以下のとおりです。

#### <国内>

当連結会計年度は、引き続き高付加価値戦略の徹底による市場拡大を推進するとともに、中部工場稼働による生産能力拡大及び物流効率の改善に取り組みました。また、馬鈴薯歩留の想定外の悪化と収量減への対応も経営課題となりました。

商品戦略としては、フラッグシップである「湖池屋プライドポテト」をはじめとした高付加価値ブランドにおいて、継続的なりニューアルなどによる、更なる市場定着を推し進め、加えてロングセラーブランドの売上拡大も進めながら、「湖池屋ブランド」の価値向上に取り組みました。

「ピュアポテト」においては、味覚とパッケージデザイン的大幅リニューアルにより、国産芋100%使用で濃い芋の旨みがぎゅっと詰まった「ピュアな美味しさ」を訴求したことが奏功し、売上拡大に大きく寄与しました。ロングセラーコーンスナックである「スコーン」においては「絶品焼きとうもろこし」の販売が好調に推移し、ブランド全体の売上を大きく伸ばしました。他のコーン系ブランドにおいても、「ドンタコス」は味覚とパッケージデザインのリニューアルによって本格メキシカンタコスを訴求、「ポリンキー」においては35周年記念商品「カリッカリえびポリンキー えび塩」の発売や、初代TVCM「ポリンキーの秘密」を完全再現したTVCM「ポリンキー35年目の秘密」篇を放映するなど、プロダクト、プロモーションともに周年施策を実施し、ブランド価値向上、売上拡大に繋げました。

他方、サプライチェーン全体でのコスト上昇への対応及び生産能力の拡大・生産性向上などを主目的とした、当社初の中部エリアの生産拠点「湖池屋 中部工場」を岐阜県海津市に開設し、稼働を開始しました。

しかしながら、原材料費や人件費などの各種コスト増加の影響は依然として大きく、加えて、北海道産馬鈴薯の不作の影響で、商品施策や販売計画の見直しを余儀なくされました。その状況下、コスト上昇への対応や計画の軌道修正のため、継続的なコスト削減施策の計画・実行、中部工場の最大活用による物流効率改善、市場動向を踏まえたフレキシブルな販売戦略及び価格戦略等を組みあわせ、最大限の利益確保に努めました。

以上の結果、売上の拡大に成功したものの、コスト増加や馬鈴薯影響が色濃く、国内の売上高は54,733百万円（前年同期比3.0%増）となり、セグメント利益は3,439百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

#### <海外>

台湾事業においては、若干の苦戦を強いられましたが、ベトナムやタイ、アメリカ等の各拠点における販促・チャネル戦略の最適化、及び新商品投入による戦略的な利益改善施策を実施することで、海外事業トータルでは増収増益を達成しました。

主力ブランドの「カラムーチョ」は、主要展開国で売上を伸ばすとともに展開国を拡大し、引き続き好調を維持しています。台湾事業では、市場環境の悪化による売上減少に加えて、その減少を補うために販促費も増加したため、売上・利益ともに前年を若干下回る結果となりました。ベトナム事業では、国内販売・輸出ともに好調で増収となり、更に、粗利の改善、販促費の削減により、課題であった利益も大きく拡大しました。タイ事業では、市況が厳しい状況にあるものの、販売チャネルの多様化と、売上面で課題だった第4四半期における集中的な新商品発売が奏功し、増収増益となりました。アメリカ事業は2025年6月に現地法人を設立し、実質の事業開始となった10月より、ビジネススキームを刷新しました。11月には新ブランド「SATISFRY」を発売し、積極的に事業展開を推進しております。

以上の結果、各国でチャネル拡大、利益改善に積極的に取り組んだことで、海外の売上高は6,422百万円（前年同

期比3.1%増)、セグメント利益は649百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

### (資産)

総資産は、前連結会計年度末に比べ8,308百万円増加し、47,363百万円となりました。主な要因は、建設仮勘定の減少(4,552百万円)の一方、建物及び構築物の増加(8,701百万円)及び機械装置及び運搬具の増加(3,042百万円)によるものであります。

### (負債)

負債は、前連結会計年度末に比べ6,091百万円増加し、25,737百万円となりました。主な要因は、長期借入金の増加(3,141百万円)及び長期リース債務の増加(1,593百万円)によるものであります。

### (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,215百万円増加し、21,626百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(2,008百万円)によるものであります。なお、自己資本比率は45.0%となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末に比べて787百万円増加し、4,354百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,996百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額(881百万円)等の減少があったものの、税金等調整前当期純利益(3,540百万円)の計上及び、売上債権の増減額(1,071百万円)等の増加があったことによるものであります。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,928百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(6,981百万円)によるものであります。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は3,608百万円となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出(1,800百万円)等の減少があったものの、短期借入れによる収入(2,500百万円)及び、長期借入れによる収入(4,200百万円)等の増加があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

2027年3月期は、引き続き国内外において、プロダクト・プロモーション・販売施策を掛け合わせた高付加価値経営を進めることで、更なる「湖池屋ブランド」の価値向上を推進します。

国内事業では、原材料価格や人件費をはじめとする継続的なコスト増加に加え、中東情勢問題に象徴される先行き不透明な厳しい経営環境だと捉えています。そのような外部環境において、当社としては、高付加価値商品を軸とした販売戦略を継続するとともに、2025年12月より稼働を開始した中部工場を最大活用した生産・物流の効率化を進めつつ、市場動向に鑑みながら必要に応じた価格改定を順次実施することで利益確保に努めます。

海外事業におきましても、不透明な世界情勢の影響に起因される原材料価格の高騰など、予測困難な経営環境が想定されますが、グローバルブランドである「カラムーチョ」のブランド力強化・配荷拡大と、コーンや小麦を原料とした高利益商品の販売構成比拡大などにより、売上・利益向上に取り組んでまいります。昨年開始したアメリカ事業では、当社ブランドの市場浸透に向けて、チャネル拡大などに注力します。

以上により、翌連結会計年度（2027年3月期）の売上高は65,400百万円、営業利益3,900百万円、経常利益3,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,600百万円を予定しております。

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
2027年3月期 (予想)	65,400	3,900	3,800	2,600	243.72
2026年3月期 (実績)	61,156	3,868	3,773	2,594	243.24
増減率	6.9%	0.8%	0.7%	0.2%	—

現時点における中東情勢の影響については、見通し不確定として、業績予想には織り込んでいません。今後、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示します。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

### 3. 連結財務諸表及び主な注記

#### (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,567	4,355
受取手形	33	29
売掛金	10,703	9,766
商品及び製品	1,927	2,330
仕掛品	10	39
原材料及び貯蔵品	1,608	1,200
その他	713	1,805
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	18,558	19,521
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,418	19,540
減価償却累計額	△5,854	△6,275
建物及び構築物 (純額)	4,563	13,265
機械装置及び運搬具	18,182	22,128
減価償却累計額	△12,913	△13,816
機械装置及び運搬具 (純額)	5,268	8,311
土地	2,768	2,787
建設仮勘定	5,390	838
その他	690	800
減価償却累計額	△534	△529
その他 (純額)	156	270
有形固定資産合計	18,148	25,473
無形固定資産		
その他	229	254
無形固定資産合計	229	254
投資その他の資産		
投資有価証券	296	305
繰延税金資産	1,501	1,459
その他	321	348
投資その他の資産合計	2,119	2,113
固定資産合計	20,497	27,841
資産合計	39,055	47,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,846	4,344
短期借入金	500	1,200
未払金	1,937	1,886
返金負債	3,082	2,835
未払法人税等	446	406
賞与引当金	470	469
その他	1,024	1,716
流動負債合計	12,308	12,858
固定負債		
長期借入金	4,711	7,853
リース債務	400	1,994
長期未払金	328	1,197
退職給付に係る負債	1,892	1,829
その他	3	4
固定負債合計	7,336	12,878
負債合計	19,645	25,737
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,269	2,269
資本剰余金	2,153	2,153
利益剰余金	14,521	16,529
自己株式	△4	△4
株主資本合計	18,941	20,949
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	7
為替換算調整勘定	165	276
退職給付に係る調整累計額	△39	56
その他の包括利益累計額合計	133	341
非支配株主持分	335	335
純資産合計	19,410	21,626
負債純資産合計	39,055	47,363

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	59,383	61,156
売上原価	40,059	42,066
売上総利益	19,323	19,089
販売費及び一般管理費	15,304	15,220
営業利益	4,019	3,868
営業外収益		
受取利息	15	20
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	16	16
投資有価証券売却益	—	4
為替差益	8	15
その他	17	10
営業外収益合計	67	77
営業外費用		
支払利息	18	87
投資有価証券売却損	—	0
支払補償費	—	31
その他	51	53
営業外費用合計	69	173
経常利益	4,017	3,773
特別利益		
補助金収入	—	201
特別利益合計	—	201
特別損失		
減損損失	—	225
棚卸資産廃棄損	325	209
特別損失合計	325	434
税金等調整前当期純利益	3,691	3,540
法人税、住民税及び事業税	941	792
法人税等調整額	△23	△2
法人税等合計	918	789
当期純利益	2,773	2,751
非支配株主に帰属する当期純利益	183	156
親会社株主に帰属する当期純利益	2,590	2,594

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	2,773	2,751
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	△0
為替換算調整勘定	△69	152
退職給付に係る調整額	△50	96
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△1
その他の包括利益合計	△106	246
包括利益	2,667	2,998
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,501	2,801
非支配株主に係る包括利益	165	196

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,269	2,153	12,464	△4	16,884
当期変動額					
剰余金の配当			△533		△533
親会社株主に帰属する当期純利益			2,590		2,590
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,056	—	2,056
当期末残高	2,269	2,153	14,521	△4	18,941

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	11	201	10	222	261	17,368
当期変動額						
剰余金の配当						△533
親会社株主に帰属する当期純利益						2,590
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2	△35	△50	△88	73	△14
当期変動額合計	△2	△35	△50	△88	73	2,041
当期末残高	8	165	△39	133	335	19,410

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,269	2,153	14,521	△4	18,941
当期変動額					
剰余金の配当			△586		△586
親会社株主に帰属する当期純利益			2,594		2,594
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	2,008	—	2,008
当期末残高	2,269	2,153	16,529	△4	20,949

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	8	165	△39	133	335	19,410
当期変動額						
剰余金の配当						△586
親会社株主に帰属する当期純利益						2,594
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△0	111	96	207	0	207
当期変動額合計	△0	111	96	207	0	2,215
当期末残高	7	276	56	341	335	21,626

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	3,691	3,540
減価償却費	1,343	1,587
減損損失	—	225
受取利息及び受取配当金	△25	△32
支払利息	18	87
補助金収入	△1	△121
持分法による投資損益 (△は益)	△16	△16
棚卸資産廃棄損	325	209
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△138	△2
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	22	78
売上債権の増減額 (△は増加)	235	1,071
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,089	△175
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△40	△386
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,348	△572
未払金の増減額 (△は減少)	△1,882	△238
返金負債の増減額 (△は減少)	171	△250
未払消費税等の増減額 (△は減少)	64	△80
その他	△113	△20
小計	1,216	4,903
利息及び配当金の受取額	25	32
利息の支払額	△18	△87
法人税等の還付額	—	30
法人税等の支払額	△1,374	△881
営業活動によるキャッシュ・フロー	△150	3,996
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△6,767	△6,981
無形固定資産の取得による支出	△58	△50
投資有価証券の償還による収入	100	—
補助金の受取額	—	121
その他	△32	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,757	△6,928
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,500	2,500
短期借入金の返済による支出	△1,500	△1,800
長期借入れによる収入	4,800	4,200
長期借入金の返済による支出	△424	△410
配当金の支払額	△533	△586
非支配株主への配当金の支払額	△91	△195
その他	△83	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,666	3,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	110
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,287	787
現金及び現金同等物の期首残高	6,854	3,567
現金及び現金同等物の期末残高	3,567	4,354

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、スナック菓子の製造販売を中心に事業活動を展開し、「国内」、「海外」の2つを報告セグメントとしております。

「国内」は当社が、「海外」においては在外連結子会社が、それぞれ独立した経営単位で事業活動を展開しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	53,155	6,227	59,383	—	59,383
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	53,155	6,227	59,383	—	59,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	169	530	699	△699	—
計	53,325	6,757	60,082	△699	59,383
セグメント利益	3,532	577	4,109	△90	4,019
セグメント資産	36,100	2,986	39,087	△31	39,055
その他の項目					
減価償却費	1,248	95	1,343	—	1,343
減損損失	—	—	—	—	—
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	6,640	43	6,683	—	6,683

(注) 1. セグメント利益の調整額△90百万円、セグメント資産の調整額△31百万円はセグメント間取引消去等であります。

(注) 2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計 (注) 2
	国内	海外	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	54,733	6,422	61,156	—	61,156
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	54,733	6,422	61,156	—	61,156
セグメント間の内部売上高 又は振替高	275	657	933	△933	—
計	55,009	7,079	62,089	△933	61,156
セグメント利益	3,439	649	4,089	△220	3,868
セグメント資産	43,616	3,798	47,414	△50	47,363
その他の項目					
減価償却費	1,487	99	1,587	—	1,587
減損損失	225	—	225	—	225
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	8,835	318	9,153	—	9,153

(注) 1. セグメント利益の調整額△220百万円、セグメント資産の調整額△50百万円はセグメント間取引消去等  
であります。

(注) 2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	1,788.10円	1,995.76円
1株当たり当期純利益	242.81円	243.24円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	2,590	2,594
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益 (百万円)	2,590	2,594
期中平均株式数 (株)	10,667,778	10,667,778

(重要な後発事象)

該当事項はありません。